

令和7年度 会津若松市教育行政推進プラン

憧れ ・ 学び ・ 誇り
～ 凜としたあいづっこの育成 ～

あいづっこ宣言

一 人をいたわります

二 ありがとう

ごめんなさいを言います

三 がまんをします

四 卑怯なふるまいをしません

五 会津を誇り年上を敬います

六 夢に向かってがんばります

やってはならぬ

やらねばならぬ

ならぬことは

ならぬものです

会津若松市教育委員会

－ 目 次 －

	ページ
○ 教育行政推進プラン策定の趣旨	1
○ 政策・施策	2
○ 主要事業と重点的取組等	
〈政策分野〉	
・ 学校教育	3
・ 教育環境	11
・ 地域による子ども育成	15
・ 生涯学習	19
・ スポーツ	24
・ 歴史・文化	27
○ 教育費当初予算の状況	31

あこが
憧れ 憧れは、教育の原点であり

まな
学び 学びは、夢を実現させるためのものです。

ほこ
誇り 誇りを胸に、いきいきと輝くひとづくり
これが会津若松市の教育です。

教育行政推進プラン策定の趣旨

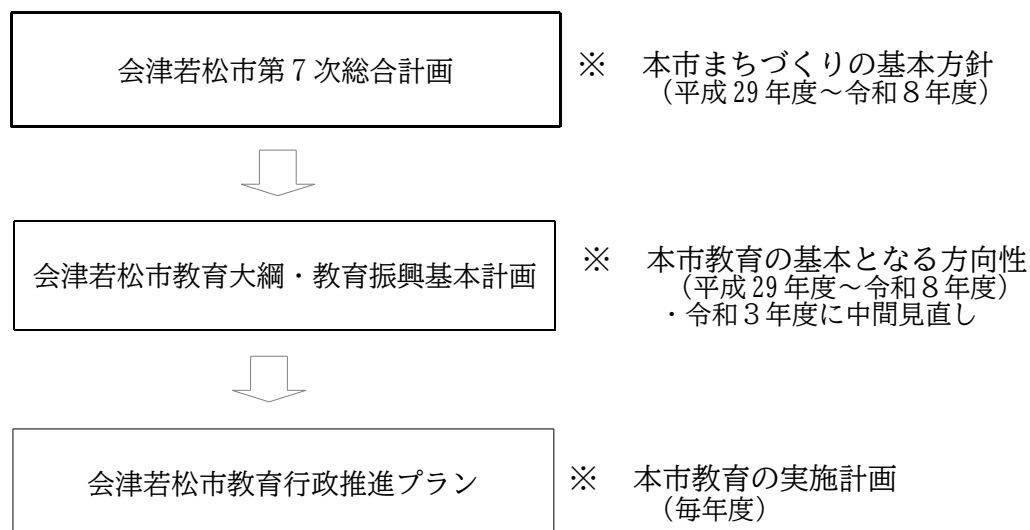
「まちづくりは人づくり」とも言われるように、本市が未来に向かって持続的に発展していくためには、次代を担う人材の育成が不可欠であり、教育行政は、その大きな役割を担っています。

その役割を果たすためには、確かな学力を育むことはもとより、先人たちが築き上げてきた会津の歴史や文化・伝統を学び、継承するとともに、「あいづっこ宣言」をより効果的に活用することで、誇りと自信を持って未来を生きることができ、人づくりに取り組むことが重要と認識しています。

本市においては、平成29年4月からの「会津若松市第7次総合計画」に併せ、「会津若松市教育大綱・教育振興基本計画」を策定しましたが、この「会津若松市教育行政推進プラン」（以下「推進プラン」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の2を踏まえ、本市教育行政における年度ごとの実施計画と位置付け策定するものです。

教育委員会では、「憧れは、教育の原点であり、学びは、夢を実現させるためのもの。誇りを胸に、いきいきと輝くひとづくり（憧れ・学び・誇り～凛としたあいづっこの育成～）」をスローガンに掲げ、この推進プランに定める施策や各種事務事業を執行し、教育行政の一層の充実・発展に向けて取り組んでまいります。

【体系イメージ】



政策・施策

政策分野ごとの施策は次のとおりです。

【基本目標】 未来につなぐひとづくり

《政策１》 次代を創る子どもたちの育成

政策分野	施 策
〈政策分野１〉 学校教育	(1) 確かな学力の育成
	(2) 豊かな心の育成
	(3) 健やかな体の育成
	(4) 特別支援教育の充実
〈政策分野２〉 教育環境	(1) 就学環境の充実
	(2) 学校環境の充実、整備
〈政策分野３〉 地域による子ども育成	(1) 子どもと子育て家庭を支える地域づくり
	(2) 青少年の健全育成

《政策２》 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野	施 策
〈政策分野４〉 生涯学習	(1) 生涯学習活動の支援
	(2) 読書活動の推進
	(3) 地域における社会教育の推進
〈政策分野５〉 スポーツ	(1) スポーツ機会の充実
	(2) スポーツ環境の充実
〈政策分野６〉 歴史・文化	(1) 地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興
	(2) 地域の歴史・文化を育む環境づくり
	(3) 歴史資源・伝統文化の保存・継承

《 政策 1 》 次代を創る子どもたちの育成

〈政策分野1〉学校教育

【 目指す姿 】

学ぶ喜びや楽しさを実感しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく身に付けた子どもたちが育つまちを目指します。

（施策1）確かな学力の育成

子どもたちが、学力の基礎となる知識を確実に身に付け、それらを活用して課題を解決する力を育成します。加えて、子どもたちが学ぶ喜びや楽しさを実感し、主体的に学習に取り組む姿勢を養います。

また、「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学校と家庭が連携して学力向上に取り組めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	あいづっこ学力向上推進事業／学校教育課／	5,054 万円
2	外国語指導助手等活用事業 ／学校教育課／	5,396 万円
3	複式学級非常勤講師の配置 ／学校教育課／	451 万円
4	学校のあり方の検討 （学校運営協議会）／学校教育課／	201 万円

【重点的取組】

① あいづっこ学力向上推進事業

・「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき「児童生徒の「確かな学力」の向上を図る基盤づくり」、「グローバル教育の推進（ICTを活用した次世代の学校づくり）」、「学習意欲（チャレンジ精神）の向上」及び「学校・家庭・地域が一体となった推進体制の構築」の4つの視点から、多角的かつ総合的に学力向上の取組を実施していきます。

・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえながら、本市独自の学力調査（チャレンジ

テスト)を継続して実施し、教員の指導力向上に向けて、取り組んでいきます。

- ・「あいづっこ数学サポートティーチャー」のさらなる活用を図り、数学の基礎的・基本的な内容の理解・定着のための個別指導の充実を図り、学習へのチャレンジ意欲を高めていきます。

- ・デジタルドリルを積極的に活用することにより、授業や家庭学習において個別最適な学習により、学力の定着を図っていきます。

② 外国語指導助手等活用事業

- ・令和2年度からの新学習指導要領に基づき、小学校における外国語科、外国語活動へ対応するため外国語指導助手（ALT）の活用を図ります。

- ・小中連携を強化する観点から、中学校区ごとにALTを配置することにより、小学校から中学校への学びの接続を意識した授業を実施していきます。

- ・外国語科・外国語活動を担当する教員への研修を積極的に実施し、指導力の向上を図っていきます。

③ 複式学級非常勤講師の配置

- ・複式学級において、教師の直接的な指導を受ける時間を増やし、多くの授業が単式学級となるよう継続して非常勤講師を配置していきます。

④ 学校のあり方の検討

- ・本市における子どもの未来像について、教育行政課題や地域の意向を踏まえ、学校や地域の状況を把握しながら検討していきます。

- ・市立学校の設置に係る義務教育学校や小規模特認校制度等の導入など、学校規模の適正化等の様々な課題について、学校運営協議会からの意見等を踏まえ、魅力ある学校づくりの実現に向けて取り組んでいきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目		基準値 (平成 28 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
全国学力・学習状況調査における全国と本市の比較値	小学 6 年生	98.4	104.3	105 以上
	中学 3 年生	95.0	100.4	101 以上

※令和 6 年度実績値 小学 6 年生 97.6
 中学 3 年生 91.3

※ 1 全国平均を 100 とした際の本市の数値

※ 2 中学 3 年生には、義務教育学校 9 年生を含む。以下同じ。

項 目		基準値 (平成 28 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
平日の家庭学習時間	小学 6 年生	73.9%	88.0%	90%
	中学 3 年生	26.2%	47.0%	50%

※令和 6 年度実績値 小学 6 年生 67.8%
 中学 3 年生 21.5%

※ 1 小学校 6 年生は、1 時間以上学習する児童の割合

※ 2 中学校 3 年生は、2 時間以上学習する生徒の割合

項 目		基準値 (平成 28 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
各小・中学校への 外国語指導助手年間訪問時間	小学 3・4 年生	—	各クラス 20 時間	各クラス 30 時間
	5・6 年生	各クラス 35 時間	各クラス 35 時間	各クラス 35 時間
	中学生 全学年	各クラス 30 時間	各クラス 30 時間	各クラス 35 時間

※令和 6 年度実績値 小学 3・4 年生 各クラス 20 時間
 小学 5・6 年生 各クラス 35 時間
 中学生全学年 各クラス 30 時間

（施策２）豊かな心の育成

自分や他者を大切にする心や自己肯定感を育み、「あいづっこ宣言」の精神を基盤とした規範意識を高めます。また、ふるさと会津に誇りと愛着をもち、たくましく生きる人材を育成します。

さらに、子どもたちの生命を守り、学校を安心して学べる場所とするため、学校、家庭、地域、関係機関、行政等の連携により、いじめや不登校などの未然防止、早期対応に取り組めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 あいづっこ人材育成プロジェクト事業／学校教育課／ 574 万円
- 2 適応指導・教育相談事業
（教員相談員及びスクールソーシャルワーカーの配置）／学校教育課／2,751 万円
- 3 スクールカウンセラー等活用事業 ／学校教育課／ 241 万円

【重点的取組】

- ① あいづっこ人材育成プロジェクト事業
 - ・児童生徒の豊かな心の育成を図るため、「映画から学ぶ」、「地域から学ぶ」、「あいづっこ黒板アートコンテスト」及び「まなべこツアー」の各事業を継続して実施していきます。
- ② 適応指導・教育相談事業
 - ・いじめや不登校などの問題を抱える児童生徒及び保護者等から多岐にわたる相談が寄せられており、スクールソーシャルワーカーを増員し、関係部局等との連携・協力をさらに深め、一層効果的な相談体制の充実を図っていきます。
 - ・学習用タブレット端末の活用を含め、不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われるよう取り組んでいきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
学校が好きな児童生徒の割合	86%	97%	100%

※令和 6 年度実績値 88%

小・中学校における不登校の出現率	1.6%	3.5%	0.8%
------------------	------	------	------

※令和 6 年度実績値 4.3%

（施策3）健やかな体の育成

子どもたちが運動の楽しさや喜びを実感できる機会をつくり、心身の健康の保持増進による健やかな子どもの育成を図ります。

また、安全安心な学校給食の提供及び食育の推進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|----------------------------|----------------|-----------|
| 1 | プール代替事業 | ／学校教育課・学校施設給食課 | ／1,445 万円 |
| 2 | 部活動運営体制構築事業
（部活動指導員の配置） | ／学校教育課 | ／ 582 万円 |
| 3 | 地域運動部活動推進事業 | ／学校教育課 | ／1,664 万円 |
| 4 | 地域文化部活動推進事業 | ／学校教育課 | ／ 118 万円 |

【重点的取組】

① 安全・安心な水泳授業の実施

・プールの老朽化の状況を踏まえ、引き続き、近隣の学校や民間施設等の代替プールを活用し、安全・安心な環境で水泳授業を実施します。

また、学校ごとに劣化状況や代替プール活用の可否、さらには、児童生徒数の推移や学校側の意向などを整理しながら、市立学校全体としてのあり方について検討を進め、改修や集約、民間利用も含めた方針を策定します。

② 学校保健・体育活動の支援

・心身ともに健康な児童生徒の育成を図るため、学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員の保健管理への取組を継続していきます。

③ 持続可能な部活動運営体制の構築

・「市部活動に関する方針」に基づき、平日における部活動の指導体制の充実を図るため、部活動指導員を8名から9名に1名増員し、配置していきます。

・休日における部活動を地域の活動として移行し、学校、地域、関係団体との協働により、「地域総ぐるみで子どもを育てる」環境づくりを引き続き進めていきます。

・運動部においては、引き続き地域運動部活動コーディネーターを活用し、関係団体

との連携のもと取組を推進していきます。文化部においても、合唱及び吹奏楽を中心に、関係団体の協力を得ながら、地域の指導者の確保及び望ましい運営体制の構築に取り組んでいきます。

- ・令和8年度からの休日における部活動の地域への完全移行に向けて、令和7年度は「あいづっこスポーツ・文化教室」の年間実施回数を増やし、生徒が希望する活動に取り組める望ましい持続可能な部活動体制を整備していきます。

- ・地域移行の取組により、学校の枠を越え、関係団体と連携しながら活動し、生徒の技術の向上を図るとともに、生徒の自主性、協調性、連帯感及び社会性の形成を図っていきます。

④ 学校給食の充実

- ・老朽化している給食施設設備について修繕や更新を計画的に行っていきます。
- ・給食施設の集約化や既存の給食センターにおける受配校の見直しなど再編の考え方を整理し、新たな給食施設の整備を含め、効率的な管理運営の検討を行っていきます。
- ・学校給食費の適正な管理を行うとともに、未納対策や納付相談に取り組むなど、食材の購入も含めた学校給食費の公会計制度の適切な運用を図っていきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目		基準値 (平成27年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全国と本市の比較値	小学5年生	102.5	104.8	105 以上
	中学2年生	97.9	99.8	100 以上

※令和6年度実績値 小学5年生 103.3

中学2年生 100.5

※ 握力、50 m走、反復横とび等の得点を合計した数値で、全国平均を100とした際の本市の数値

（施策4）特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりに寄り添った、きめ細かな支援及び環境整備を行い、学びを通して自立や社会参加に必要な力を育みます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 特別支援教育支援員事業 ／学校教育課／1 億 2,260 万円
（特別支援教育支援員の配置等）
- 2 適応指導・教育相談事業 ／学校教育課／ 2,751 万円
（教育相談員の配置等）
- 3 医療的ケア児支援事業 ／学校教育課／ 906 万円

【重点的取組】

① 特別支援教育

・教育上特別な配慮を必要とする児童生徒について、専門的な知識を有する者で構成する教育支援委員会による調査や相談により、専門的な判断のもと、適正な就学先の選択を支援していきます。

・特別支援教育支援員を 35 名から 36 名に 1 名増員し、個別の教育的ニーズに的確に応える多様で柔軟な仕組みを整備し、インクルーシブ教育の推進を図っていきます。

② 医療的ケア児支援

・受け入れる医療的ケア児の状況を踏まえ、学校看護師や特別支援教員支援員を配置していきます。

・医療的ケア児支援に係る特別支援教育支援員を 1 名から 2 名に 1 名増員し、個別の支援の充実を図っていきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
特別支援教育支援員配置校の割合	60%	97%	100%

※令和 6 年度実績値 93%

〈政策分野2〉教育環境

【目指す姿】

すべての子どもたちが、等しく教育を受け、安全で安心して学校生活を送れる環境が整ったまちを目指します。

（施策1）就学環境の充実

子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするため、経済的理由や通学環境などから、児童及び生徒の就学に支障をきたす状況にある保護者などに対して必要な援助を行います。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|------------|------------------|-------|
| 1 | 就学援助費 | ／学校教育課／1億 | 170万円 |
| 2 | スクールバス運行事業 | ／教育総務課／1億1,011万円 | |
| 3 | 遠距離通学助成事業 | ／教育総務課／ | 697万円 |

【重点的取組】

① 就学援助

・社会状況の変化を見極めながら、義務教育の円滑な実施に向け、援助を必要とする児童生徒の保護者に対し、適切に就学援助が実施されるよう周知徹底を図っていきます。また、対象とする費目について、調査・研究を継続していきます。

② 通学支援

・スクールバスの運行については、毎年度、対象児童生徒の変化にあわせ、コースや乗降所を見直しつつ適切な運行に努めていきます。また、遠距離通学をする児童生徒の通学実態や地域の公共交通状況等を踏まえ、地域の実情に応じた効果的な支援のあり方を検討していきます。

③ 奨学資金給与

・令和2年度の見直し以降、決定者数が年々増加傾向にあることから、今年度も引き続き制度の周知を図るとともに申請状況を踏まえながら、給与要件等が適切かどうか

かの検証を継続していきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
要保護・準要保護認定者の 小・中・義務教育学校の児 童生徒数に対する周知率	100%	100%	100%

※令和 6 年度実績値 100%

（施策２）学校環境の充実、整備

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、計画的な学校施設の耐震化を進め、さらに、予防保全の視点から施設や設備の適切な維持管理や改修を行います。

また、新学習指導要領や各学校の特色、教育目標、教育課題等に対応した適切な教材や図書及び「市教育ＩＣＴ推進プラン」に基づいた教育ＩＣＴ環境の整備を進めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 学校施設耐震化事業 ／学校施設給食課／ 1 億 3,767 万円
- 2 学校維持管理事業 ／学校施設給食課／10 億 7,179 万円
- 3 教育ＩＣＴ環境推進事業／学校教育課 ／ 1 億 5,549 万円

【重点的取組】

① 学校施設の耐震性の確保

・構造体の耐震化は全て完了したことから、引き続き、屋内運動場における窓ガラスの飛散防止フィルム貼付、バスケットゴールの落下防止対策など、非構造部材の耐震化に計画的に取り組めます。

② 学校施設の適切な維持管理

・学校施設については、老朽化による劣化損傷が進んでおり、児童・生徒等の安全安心及び長寿命化（予防保全）の観点から、年次計画により改修を行います。

また、トイレ洋式化については、引き続き、女子児童・生徒が主に利用するトイレ区画における追加工事を優先して計画的に実施するとともに、照明ＬＥＤ化についても、引き続き、国の補助制度を活用しながら、校舎及び屋内運動場について実施します。

③ 教育ＩＣＴ環境推進事業

・「市教育ＩＣＴ推進プラン」に基づき、計画的に教育ＩＣＴ環境の整備・更新を進めていくとともに、統合型校務支援システムの運用や学校でのＩＣＴ活用を支援する体制の充実にも取り組んでいきます。

・更新時期を迎えるタブレット端末について、国の補助の活用を前提とした県の共同調達での整備を検討するなど、入替の準備を進めていきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

① 学校施設耐震化事業

項 目	基準値 (令和3年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
窓ガラス及びバスケットゴール耐震化済の体育館棟数	11 棟	27 棟	30 棟

※令和6年度実績値 24 棟

② 大型提示装置の普通教室への整備

項 目		基準値 (令和3年度)	計画値 (令和6年度)	目標値 (※令和6年度)
大型提示装置の整備（小学校）	普通学級及び特別支援学級用（各学級1台ずつ）	138 台／260 学級 53.1%	261 台／261 学級 100.0%	261 台／261 学級 100.0%
	その他教室用（各学校1台ずつ）	—	19 台／19 校 100.0%	19 台／19 校 100.0%
	小学校計	138 台／260 台 53.1%	280 台／280 台 100.0%	280 台／280 台 100.0%
大型提示装置の整備（中学校）	普通学級及び特別支援学級用（各学級1台ずつ）	68 台／116 学級 58.6%	110 台／110 学級 100.0%	110 台／110 学級 100.0%
	その他教室用（各学校1台ずつ）	—	11 台／11 校 100.0%	11 台／11 校 100.0%
	中学校計	68 台／116 学級 58.6%	121 台／121 台 100.0%	121 台／121 台 100.0%
計		206 台／376 台 54.8%	401 台／401 台 100.0%	401 台／401 台 100.0%

※ 大型提示装置は、令和4年度から令和6年度までの期間で整備する計画のため、目標値の年度を令和6年度とする。

※ 小学校、中学校には、それぞれ義務教育学校の前期課程、後期課程を含む。

※ 「その他教室用」は、令和6年度から整備する方針を定めたため、令和3年度時点では整備目標を定めていない。

※ 令和6年度の川南小、北会津中の特別支援学級数は0であるが、以降の年度で新設される可能性を考慮し、両校とも1学級があるものとして学級数を算出。

〈政策分野3〉地域による子ども育成

【目指す姿】

地域社会全体で子どもたちを育み、子どもたちが社会的、精神的に成長するまちを目指します。

（施策1）子どもと子育て家庭を支える地域づくり

地域社会の中で安心して子育てができ、一人ひとりの子どもたちが健やかに成長することができるよう、地域で子育てを支える意識づくりや交流機会の創出等を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 地域学校協働本部事業 ／生涯学習総合センター・地区公民館／1,308 万円
- 2 子ども読書活動推進事業／生涯学習総合センター ／ 327 万円

【重点的取組】

① 地域学校協働本部事業（地域学校協働活動・放課後子ども教室）の推進

・小・中・義務教育学校に学校運営協議会（コミュニティスクール）が設置されたことから、地域学校協働活動推進員等がその委員となり、学校運営に係る支援を協議して活動を推進します。

・地域学校協働本部と学校運営協議会（コミュニティスクール）が一体となって機能することが求められており、活動の様子を周知・広報し、地域の中で子どもを育む取組として、多くの人に主体的に参画いただけるよう、地域学校協働本部事業の体制の充実に努めます。

② 子ども読書活動の推進

・ボランティア育成や読み聞かせ講座による学習する機会と情報提供を行うとともに、事業活動の場の確保と継続に努めます。

・「第四次市子ども読書活動推進計画」の策定を行うとともに、「第三次市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進し、図書館事業の充実に努めます。

・障がいがあったり、日本語以外を母国語とするなど支援を必要とする子どもたちに対して、本への興味・関心を引き出し、読書習慣が定着するよう、家庭や学校等での子どもの読書活動を推進します。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
放課後子ども教室利用児童 の割合	4.8%	10.2%	10%

※令和 6 年度実績値 10.2%

子ども（18 歳まで）の会津 図書館館外貸出登録者の割 合	36%	46.9%	45%
-------------------------------------	-----	-------	-----

※令和 6 年度実績値 46.9%

（施策２）青少年の健全育成

會津藩校日新館の教えである「ならぬことはならぬ」に代表される会津の精神を踏まえ、て策定した「青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”」を青少年健全育成の柱とし、地域ぐるみで青少年を育みます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|--------------------|--------|---------|
| 1 | 青少年の心を育てる市民行動プラン事業 | ／教育総務課 | ／ 74 万円 |
| 2 | 少年センター運営事業 | ／教育総務課 | ／305 万円 |
| 3 | 青少年健全育成事業 | ／教育総務課 | ／584 万円 |

【重点的取組】

- ① 青少年の心を育てる市民行動プラン事業
 - ・青少年の心を育てる市民行動プラン“あいづっこ宣言”の大人へのより一層の普及促進が課題となっていることから、引き続き民間企業へ協力を依頼し普及啓発を進めるとともに、宣言の紹介動画等の有効活用を図りながら、宣言に込められた内容の更なる理解促進と宣言の実践化を図っていきます。
- ② 少年の非行防止
 - ・少年の非行を防止するため、関係機関との連携を基盤として、地域に密着した補導活動を行っていきます。犯罪発生が多い地域・時間帯に合わせた『あいづっこ青色パトロール』での見せる補導や「あいべあ」での補導員への情報提供、研修会の開催により補導活動の充実を図り、少年非行と犯罪被害を未然に防ぐ抑止力としての取り組みを継続してまいります。
- ③ 青少年健全育成事業
 - ・青少年を取り巻く環境が一層複雑・多様化する中であって、青少年の健全育成には家庭、学校、地域等の連携した取組が不可欠であることから、今後も青少年関係団体などと連携し、地域全体で青少年の健全育成を推進していきます。子ども会育成会連絡協議会との連携を図り、より魅力ある事業の実施と効果的な周知方法を検討するなど、子ども会加入者の確保と育成会等の組織の活性化を図り、自主的な活動の支援を継続してまいります。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
非行少年の割合 (1,000 人あたり)	2.4 人	1.9 人	1.8 人

※令和 6 年度実績値 3.9 人

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
あいづっこ宣言の民間企業への 普及啓発	3 社	3 社	3 社

※令和 6 年度実績値 2 社

「政策2」 生涯にわたる学びと活躍の推進

〈政策分野4〉生涯学習

【 目指す姿 】

誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまちを目指します。

【 目指す姿 】

誰もが生涯にわたって学び、活躍でき、地域社会の中で輝いているまちを目指します。

(施策1) 生涯学習活動の支援

知の循環型社会の構築を目指して、生涯にわたる学びを支援し、学びの成果を地域社会に還元できる人材の育成を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）
- | | | | |
|---|------------------|--------------|--------------|
| 1 | 生涯学習推進事業 | ／生涯学習総合センター／ | 393 万円 |
| 2 | 生涯学習総合センター管理運営事業 | ／生涯学習総合センター／ | 2 億 5,306 万円 |

【重点的取組】

① 学習活動の支援・育成

① 学習活動の支援・育成

- ・今後、ますます高度化・多様化する市民の学習意欲に応じていくために、市民ニーズの的確な把握に努めながら、多様な機関・団体などとのネットワークをより一層強化していくことで、幅広い内容や年齢層に対応した魅力ある講座の実施に努めます。

また、ICTを活用した講座運営に取り組み、デジタル社会に対応した学習機会の提供に努めます。

② 地域コミュニティの活性化

② 地域コミュニティの活性化

- ・公民館が地域コミュニティの拠点として、地域住民が主体的に地域課題を解決していく活動の支援に努めるとともに、地域団体、学校などと連携し、学習活動や地域活動の場において地域人材の活用を促進するなど地域コミュニティの活性化に努めます

③ 生涯学習総合センター管理運営

- ・開館から10年以上が経過し、施設設備の経年劣化が目立ち始めており、利用者の安心安全な利用に支障がないよう計画的な管理に努めます。
- ・公共施設保全計画に基づき、優先順位をつけながら必要な改修等を行い、施設設備の長寿命化に努めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成27年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
高・大・社連携事業「みらい共創スターターズ」における参加生徒のSDGsについて「自分ごと」として考えることができたとのアンケート回答割合	—	100%	100%

※令和6年度実績値 100%

生涯学習出前講座実施回数	167回	160回	200回
--------------	------	------	------

※令和6年度実績値 155回

生涯学習支援者講座 毎年度累計受講者数	7人	210人	100人
------------------------	----	------	------

※令和6年度実績値 196人（累計）

生涯学習総合センター 入館者数	573,398人	480,000人	600,000人
--------------------	----------	----------	----------

※令和6年度実績値 473,473人

（施策２）読書活動の推進

図書館を拠点として、市民が求める資料の充実やサービスの提供に努め、生涯にわたり文化的・創造的な生活ができるよう読書活動を推進します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 生涯学習推進事業 ／生涯学習総合センター／ 393 万円（再掲）
- 2 生涯学習情報提供事業 ／生涯学習総合センター／4,194 万円
- 3 子ども読書活動推進事業／生涯学習総合センター／ 327 万円（再掲）

【重点的取組】

① 図書資料等の充実

- ・市民の学習ニーズの多様化に應えるため、新刊図書や視聴覚資料の購入、新聞・雑誌の購読継続に努めます。
- ・民間企業に対し、雑誌スポンサー制度の広報と協力を求め、提供する雑誌の増加を目指します。

② 図書館サービスの提供

- ・市政だよりや「会津図書館だより」、ホームページ、SNS等により、図書館の様々なサービスについて広報を行い、図書館の利用促進を図ります。
- ・丁寧なレファレンス業務を遂行し、市民の知識の探究の場としての役割を高めていきます。
- ・読書バリアフリー法に対応した図書館資料の提供及び障がい者等サービスの広報に努めるとともに、文字の大きさ・色の変更が可能で、音声読み上げ機能のある電子書籍の導入について、引き続き、研究していきます。
- ・早乙女貢文化振興基金を活用して、会津若松市デジタルアーカイブのコンテンツの充実と利用者の利便性を高めるとともに、学校の授業でも活用されるよう広報に努めます。

③ 読書活動の整備・支援

- ・学校図書館支援員等と連携し、学校図書館の蔵書管理や整理業務の支援に努めます。

引き続き、「学校図書館ボランティア養成講座」の開催及び会津図書館奉仕員による巡回訪問を行います。

・移動図書館（あいづね号）の日曜運行、商業施設や福祉施設、また、図書館から遠隔地の市立学校、会津支援学校・聴覚支援学校会津校への巡回を継続し、幅広い世代が利用しやすい環境の維持に努めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
会津図書館における 1 日当りの貸出冊数	1,657 冊	1,400 冊	1,670 冊

※令和 6 年度実績値 1,310 冊

（施策3）地域における社会教育の推進

各公民館を地域の学習・活動の拠点として、住民が主体的に地域課題に取り組んでいくための環境づくりなど、地域に根ざした社会教育の推進により、地域コミュニティの活性化を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 各地区公民館事業 ／地区公民館／ 376 万円
- 2 各地区公民館管理運営事業／地区公民館／ 1 億 7,860 万円

【重点的取組】

① 地域コミュニティの活性化

・地域コミュニティを活性化させていくためには、地域住民の主体的な連携、協力が必要であり、それぞれの地区公民館において、地域の実情に応じた環境づくりに努めます。

・地区公民館においては、地域住民との協働による地域コミュニティの拠点としての役割も求められており、各地域の実情に応じて、地域の活性化に取り組みます。

② 地区公民館の管理運営

・地区公民館の多くは、築 30 年以上が経過しており、経年劣化による施設の破損や設備の故障に対し、一時的な経費の負担増が見込まれる。公民館の適切な維持管理を行いながら、公共施設等総合管理計画や耐震診断結果等を踏まえ、計画的な保全・整備に努めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
住民参画事業の実施館数	1 館	7 館	9 館

※令和 6 年度実績値 6 館

〈政策分野5〉スポーツ

【目指す姿】

いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも、スポーツを楽しむことができるまちを目指します。

（施策1）スポーツ機会の充実

「するスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」といった「市民総スポーツ」を推奨し、子どもから高齢者までの誰もがスポーツに親しめる機会の充実を図ります。また、会津若松市スポーツ協会や会津若松市スポーツ推進委員等と連携し、地域や学校などで活躍できるスポーツ指導者の発掘と育成の推進に努めます。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 「する」「観る」「支える」スポーツ人口創出事業／文化スポーツ課／ 554 万円
- 2 鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業／文化スポーツ課／1,100 万円

【重点的取組】

① 「する」「観る」「支える」スポーツ人口の創出

・各種市民スポーツ大会（地域スポーツ大会北会津方部大会、市民水泳大会、市民スポーツ祭、市民スキー大会）等を通して、競技を自ら「する」人、応援して「観る」人、大会の運営を「支える」人が、それぞれの立場からスポーツを楽しむとともに、市民の体力の維持向上・健康増進やスポーツによる世代間・地域間交流の促進を図ります。さらには、地域密着型スポーツ団体のホームゲーム開催等を支援し、観戦機会を提供するなど、「観る」スポーツに関わる機会の拡充を図ります。

② 鶴ヶ城ハーフマラソン大会

・地域内外から多くの参加をいただく鶴ヶ城ハーフマラソン大会については、大会を安全安心に運営し、全国規模のスポーツイベントとして市民協働によるホスピタリティの向上に向けた取組を発展させ、本市並びに会津の魅力を発信していきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成27年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
鶴ヶ城ハーフマラソン大会参加者数	6,106 人	8,000 人	8,000 人

※令和6年度実績値 8,036 人

（施策２）スポーツ環境の充実

市民が、安全に安心して、生涯にわたり、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツに親しみ、健康・体力づくりのできる環境の整備を目指します。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 市民スポーツ施設管理事業 /文化スポーツ課/4,253 万円
- 2 コミュニティプール管理事業/文化スポーツ課/4,007 万円
- 3 学校体育施設開放事業 /文化スポーツ課/ 238 万円

【重点的取組】

① スポーツ施設環境の整備

・指定管理者と連携し、市民スポーツ施設（市民ふれあいスポーツ広場、河東地区スポーツ施設、小松原多目的運動場）及びコミュニティプールの適切な維持管理に努め、市民のスポーツ人口の拡大並びに健康増進事業の推進に努めるとともに、老朽化に伴う損傷・故障等については、計画的に修繕・改修工事等を実施していきます。

② 学校体育施設開放の推進

・身近なスポーツ施設の提供及び地域スポーツ普及のため、小・中・義務教育学校体育施設の利用促進と有効活用を図り、学校教育に支障のない範囲で広く市民の方々にスポーツを楽しむ場として提供し、地域スポーツの普及を推進していきます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
スポーツ施設の利用者数 (年間延べ人数)	1,008,458 人	1,044,000 人	1,050,000 人

※令和 6 年度実績値 759,990 人

〈政策分野6〉 歴史・文化

【目指す姿】

文化芸術に親しむ機会にあふれ、本市の豊かな歴史資源の継承のもと、文化や歴史の魅力が世界に発信されているまちを目指します。

（施策1）地域の文化力を醸成する文化、芸術の振興

地域の特色を活かした文化芸術事業や文化祭などの開催を支援します。

また、質の高い文化芸術に触れる機会を充実し、地域の文化力の向上と市民が主体となった芸術文化活動の促進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- | | | | |
|---|--------------------|-----------|----------|
| 1 | 文化振興事業 | ／文化スポーツ課／ | 245 万円 |
| 2 | あいづまちなかアートプロジェクト事業 | ／文化スポーツ課／ | 600 万円 |
| 3 | 早乙女貢文化振興基金記念事業 | ／文化スポーツ課／ | 1,024 万円 |

【重点的取組】

① 地域の主体的な参加

・市民文化祭及びあいづまちなかアートプロジェクトなどの文化振興事業は、市民一人ひとりの潤いのある生活や、豊かなまちづくりを目指した活動であることから、市民がより主体的に参加できる取組となるよう、事業の方向性や実施体制、事業内容などの見直しを図ります。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	(令和3年度から満足度の調査開始)		
	基準値 (令和3年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
あいづまちなかアートプロジェクト参加者満足度	80%	84%	85%

※令和6年度実績値 83.7%

(施策2) 地域の歴史・文化を育む環境づくり

誰もが気軽に地域の歴史や文化に触れ、学ぶことができる機会を創出します。

また、歴史と文化が薫るまちを目指し、市民が活動しやすい環境づくりを行います。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

- 1 會津風雅堂管理事業 /文化スポーツ課/16,162 万円
- 2 文化センター管理事業 /文化スポーツ課/ 4,567 万円
- 3 歴史資料センター管理運営事業/文化スポーツ課/ 2,435 万円
- 4 収蔵美術作品管理活用事業 /文化スポーツ課/ 352 万円

【重点的取組】

① 文化施設等の適切な管理、整備及び活用

・文化施設及び歴史資料センターは施設が老朽化していることから、改修を含め施設・設備のあり方を検討する必要があります。

・小学校と連携した郷土の歴史を学ぶことができる「まなべこツアー」の開催や、歴史資料センター「まなべこ」での資料展示や各種講座の継続により、子どもから大人まで広く郷土理解の促進を図ります。

② 収蔵美術作品の管理と活用

・収蔵美術作品の適切な管理と一層の活用に向けて検討を進めてまいります。

・収蔵美術作品の保護及び継承の考え方にに基づき、収蔵作品のデジタル化及びその活用について推進いたします。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成27年度)	計画値 (令和7年度)	目標値 (令和8年度)
文化施設鑑賞・利用者数	229,423 人	190,000 人	230,000 人
歴史文化講座参加者数	243 人	350 人	360 人

※令和6年度実績値
文化施設鑑賞・利用者数 135,830 人
歴史文化講座参加者数 227 人

（施策３）歴史資源・伝統文化の保存・継承

文化財をはじめとする本市の貴重な歴史資源や伝統文化を後世に継承する取組を進めながら、情報発信や公開などにより、郷土の歴史や文化の理解促進を図ります。

【主要事業】（事業名／担当課／当初予算額）

1	御薬園整備事業	／文化スポーツ課／	519 万円
2	院内御廟保存整備事業	／文化スポーツ課／	929 万円
3	文化財整備事業	／文化スポーツ課／	2,467 万円
4	文化財保存活用地域計画推進事業	／文化スポーツ課／	18 万円

【重点的取組】

① 文化財の保存・整備・活用

- ・文化財保存・継承に向け、所有者や地域との連携や広く文化財に対する意識醸成に向けた取組を継続します。

- ・指定文化財等の環境整備については、地区等への委託による支障木伐採や除草清掃を継続して行うとともに国指定文化財等については、補助制度等を活用し、所有者の負担軽減を図ります。

- ・御薬園・院内御廟・赤井谷地沼野植物群落については、指導会議での指導をうけながら保存整備を進めていきます。

- ・院内御廟について、令和７年度より新たな保存活用計画の策定を行い、史跡の長期的な保存・活用を図ります。

② 埋蔵文化財の調査・保護の充実

- ・開発に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼件数が増加していることから、民間委託のさらなる活用などにより円滑に調査を進めます。

- ・「文化財だより」や「出前講座」により、文化財に対する保護意識の高揚を図ります。

③ 歴史文化の継承のための機会の創出

- ・院内御廟や赤井谷地、日新館天文台跡等について、現地での見学会や歴史文化講座を行うなど、市民の文化財に対する理解促進に向けた、積極的な文化財の活用を図り

ます。

・文化財保存活用地域計画に基づき、未指定文化財などの地域の歴史資源の情報収集や、地域ぐるみでの歴史文化の保存・活用に向けた取組を進めます。

【主たる事業の指標及び目標値】

項 目	基準値 (平成 27 年度)	計画値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 8 年度)
御薬園入園者数	53,908 人	57,000 人	60,000 人

※令和 6 年度実績値 47,289 人

〔参考〕教育費当初予算の状況

令和7年度 教育費

(単位：千円)

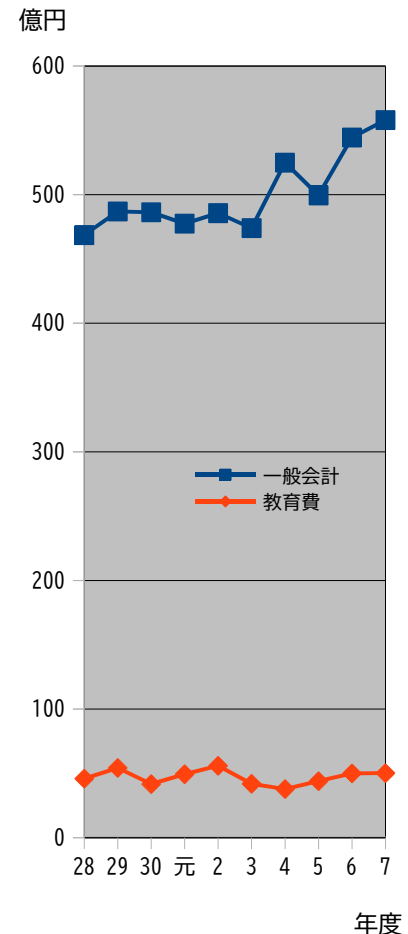
予算科目（項・目）	当初予算額	予算科目（項・目）	当初予算額
1 教育総務費	1,899,903	4 社会教育費	920,091
(1) 教育委員会費	4,748	(1) 生涯学習推進費	462,845
(2) 事務局費	430,233	(2) 公民館費	412,212
(3) 指導研究費	344,879	(3) 青少年育成費	45,034
(4) 学校給食費	1,120,043	5 文化費	524,875
2 小学校費	979,540	(1) 文化振興費	120,728
(1) 学校管理費	700,933	(2) 文化財保護費	171,729
(2) 教育振興費	278,607	(3) 文化施設費	232,418
3 中学校費	526,147	6 保健体育費	166,535
(1) 学校管理費	377,985	教育費 合計	5,017,091
(2) 教育振興費	148,162	※幼稚園費を除く	

一般会計と教育費の当初予算額推移

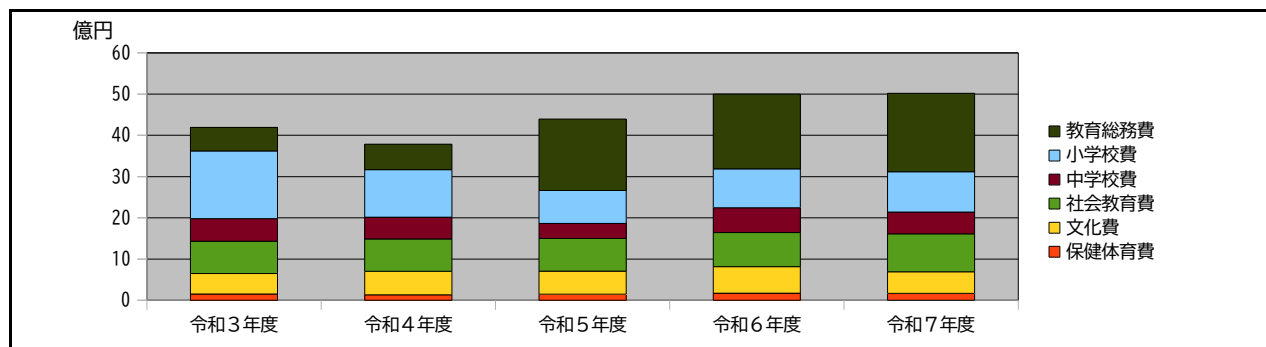
(単位：千円、%)

年度	一般会計	教育費	一般会計 に対する 割合
平成28年度	46,857,000	4,585,237	9.8
29	48,687,000	5,424,202	11.1
30	48,625,000	4,171,401	8.6
令和元年度	47,742,000	4,936,000	10.3
2	48,559,000	5,590,318	11.5
3	47,393,000	4,192,416	8.8
4	52,488,000	3,785,063	7.2
5	49,937,000	4,393,096	8.8
6	54,435,000	5,000,144	9.2
7	55,787,000	5,017,091	9.0

※幼稚園費を除く



当初予算（教育費）の推移 ※幼稚園費を除く



(単位：千円)

予算科目（項）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1. 教育総務費	570,966	618,574	1,728,508	1,810,826	1,899,903
2. 小学校費	1,641,940	1,149,344	799,663	943,903	979,540
3. 中学校費	544,866	528,857	367,001	601,514	526,147
4. 社会教育費	783,297	784,283	791,484	825,806	920,091
5. 文化費	497,724	571,040	558,004	647,215	524,875
6. 保健体育費	153,623	132,965	148,436	170,880	166,535
教育費 計（幼稚園費を除く）	4,192,416	3,785,063	4,393,096	5,000,144	5,017,091

■教育費の主な増減要因

(単位：千円)

事業名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1. 教育総務費					
○指導研究に要する経費	81,561	89,555	90,654	114,962	133,479
○あいづっこ学力向上推進事業費	21,587	22,028	22,227	42,255	50,535
○地域運動部活動推進事業費	-	-	15,494	12,995	16,639
○地域文化部活動推進事業費	-	-	-	2,795	1,172
○水泳授業に要する経費	-	-	-	5,228	14,447
○学校給食費（10.1.4）	-	29,586	1,076,218	1,083,811	1,120,043
2. 小学校費					
○学校維持管理費	398,128	399,408	460,377	585,561	620,092
○学校施設耐震化事業費	-	※R3補正（繰越）	※R4補正（繰越）	※R5補正（繰越）	※R6補正（繰越）
○城北小南棟解体・プール附属棟等	109,710	-	-	-	-
○行仁小学校改築事業費	371,229	-	-	-	-
○教育ICT環境推進事業費	70,768	91,569	99,668	94,324	99,400
3. 中学校費					
○学校維持管理費	180,929	160,044	189,913	413,500	335,370
○学校施設耐震化事業費	-	※R3補正（繰越）	※R4補正（繰越）	※R5補正（繰越）	※R6補正（繰越）
○教育ICT環境推進事業費	45,350	60,084	44,814	51,631	56,090
4. 社会教育費					
○生涯学習情報提供事業費	56,727	39,742	40,717	42,831	41,940
○子ども読書活動推進事業費	2,955	2,942	2,974	3,165	3,266
○成人祝賀事業費	-	2,654	2,814	2,674	2,932
5. 文化費					
○早乙女貢文化振興基金記念事業費	-	-	-	1,651	10,233
○日新館天文台跡整備事業費	308	518	43	30,000	50
○高野地区農地整備発掘調査事業費	60,790	56,871	40,563	-	-
○庁舎整備発掘調査事業費	-	95,179	8,759	738	-
○藤室鍛冶屋敷線発掘調査事業費	-	-	33,065	29,307	-
○文化センター管理費	61,624	42,026	40,901	46,170	45,661
○會津風雅堂管理費	160,868	180,216	163,922	167,857	161,620
6. 保健体育費					
○鶴ヶ城ハーフマラソン大会事業費	1,000	5,000	6,000	11,000	11,000
○東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業費	13,100	-	-	-	-